

TAIGAME TZ J&C

マダイスピニングロッドの
フラッグシップモデル



J&C S610L

J&C S72ML

SPEC

モデル	全長(ft.in)	継数(本)	自重	適合ルアー ウエイト	適合PE ライン	本体価格(円)
S610L	6ft10in	2本	132g	Vertigal MAX80g, CASTING MAX40g	MAX0.8号	39,000円
S72ML	7ft2in	2本	139g	Vertigal MAX100g, CASTING MAX50g	MAX0.8号	40,000円

マダイに違和感を与えず乗せるフルソリッドブランクを採用したマダイジギング&キャスト用鯛ラバ専用のスピニングロッド。張りを抑えた粘りのあるブランクなので、メタルジグや鯛ラバを暴れさせずに巻き上げられる。スピニングリールは2500~3000番を推奨。

テイルウォーク Nakachaaan!



舞台裏 VOICE

テイルウォークのアイテムはどれも明確なコンセプトがあり、それぞれに心をくすぐられるメッセージが込められている。このコーナーでは開発担当のNakachaaan!が、ブログでは紹介しきれないレアな話や開発の舞台裏を限界トークでお届け。今回語るのは、トルザイトガイド搭載のオフショアのマダイゲーム専用スピニングロッド「TAIGAME TZ J&C」について。

TAIGAME TZ J&C—違和感を抱かずに乗せる! マダイ用スピニング

撮影文/中村宗彦(なかもむねひこ)
株式会社エイテックのルアーブランド「テイルウォーク」の企画開発マネージャーとして国内外を飛び回る。仕事柄あらゆるルアーフィッシングに挑戦し、大好きなバスフィッシングでは大会で数々の実績を持つ一面も。ハンドルネームは「Nakachaaan!」。

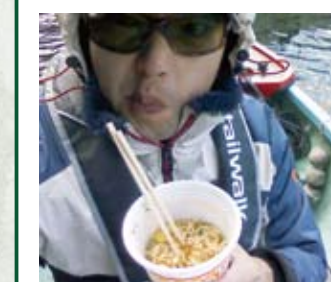


Nakachaaan!の そこまで言うの?

感動を呼ぶ魚釣りはすごい!

3月1日は待ちに待った我がホームレイクの芦ノ湖特別解禁! 「トラウトでしょ?」と思う方も多いかもしれませんが、あえてオトコのブラックバス釣りをしちゃうワタシ。地元でもヘンタイ扱いされましたけど。水温は6度台、気温はマイナスでガイドやリールが凍る寒さでしたから当然です。
スタートからわずか30分で超力ワイブリブリのバスちゃんをメタルジグで仕留め「自分、福オトコっすから(喜)」なんて思っている矢先にナント奇跡の2尾目も頂き、「厄も明けた今シーズンの自分は勢い違わんじゃね?」と思いました(笑)。ハイシーズンですらデコることも覚悟で挑む湖ですから、克服した感激は20倍ですよ。幸せが2週間続くことは

間違いのないでしょう! 難しいフィールドコンディションでハードルアーを使い釣り上げた2尾は、絶対に忘れることはないでしょう。
ソルトの雑誌で「バスを語るな!!」と突っ込みが聞こえてきそうですが、厳しさを克服する喜びはどの釣りでも同じということ許して下さい。たった2尾の魚に興奮し、熱くなりサングラスが曇り、手が震え、その夜も眠れなくなってしまう。何年やってもそんな感動が次から次へとやってくる魚釣りは、すごいなと思うのでした。
穏やかな陽気です。フィールドの春の香りに誘われるまま、フラフラと釣りに出掛けてみたいかがでしょうか。素敵な出会いがあるかもしれませんよ。



早春の芦ノ湖。この時期はカップラーメンがありがたいです。3分待たしたらぬるくなってしまいますが(笑)



メタルジグをほおぼったブリブリのバス。この日はこのバスの落した水滴がボートを凍らせる寒さでした。思い出に残る1尾です

バを投げて横引きする「キャストインク」用です。ジギングや鯛ラバでアクティブに広範囲を探るには「投げる」ことが必要です。細いラインを使うので、キャストしてもトラブルの少ないスピニングロッドが重宝されます。
ブランクはフルソリッド(無垢)を採用しました。マダイの絡み付くようなバイトや、ツンと押さえ込まれるようなアタリにも柔軟に反応。掛けてからはマダイの独特の突っ込みにも耐え、叩くようなファイトにも負荷に応じたスムーズな曲がり追随します。
ソリッド製法特有の細さは表現

力にも優れています。以前にもご紹介した「マダイに最適なブランク」としてテイルウォークではTAIGAME TZ RUBBERに採用し、好評頂いた実績ある素材です。
ガイドは、TAIGAME TZ シリーズに共通する富士工業社製のトルザイトリング&チタンフレームを搭載。フルソリッドのデメリットでもある重量感を消してくれるセッティングです。
マダイだけでなく根魚やタチウオジギング、一つテンヤの釣りなどにも幅広く対応してくれるスマートなロッドということも付け加えておきます。

あつ、そうそう。最近流行の「マイクロジギング」にもびったりだと思えますよ。1本あれば何かと活躍するはずですよ。
古くからこのマダイジギングのために東北まで足繁く通つテスターのチャーマス北村さんや、メタルジグで魚を魅了することにすべてを捧げる糸屋の兄さんこと大澤康広さん(サンヨーナイロンさんの営業)もこのロッドを愛用しています。
2人がこのロッドで今シーズンにどんな大ダイを仕留めるのか? ご期待です。ワタシも負けないようにマキマキしますよ。



魚が釣れると
幸せが続く

地元の静岡県沼津沖で鯛ラバゲームに挑み、ナイスなマダイを釣り上げました。これで2週間は幸せに暮らすことができる!?貴重な1枚です。富士山も綺麗! タックルは、テイルウォーク「TAIGAME TZ RUBBER C610L」に5.4:1のローギアのリール「エランLS54」の組み合わせ

暖かくなりました。ココロ弾む春です。
ワタシは新製品のデリバリーがすべて終わりスッキリしています。ただそんなウキウキ気分も、すぐに切り替えなければなりません。工場との打ち合わせや実釣取材、広告の打ち合わせ、小売店さんの訪問……そして魚釣り(笑)。やらなきゃいけないことメモ、は増える一方です。
国内のイベントが落ち着くと、今度は海外のイベントが目白押し。出張月間に突入し、6月に開催されるヨーロッパのフィッシングショーまで気が抜けない上半期が続きます。
ワタシの春の釣りは、神奈川県芦ノ湖でブラックバスか、静岡県沼津沖でマダイを狙います。
3月のある日曜日はマダイゲーム用ロッド「TAIGAME TZ」シリーズを握りしめて鯛ラバに出掛けました。
プレジャーボートで船長と一緒にマダイのいるポイントを絞り込

み、水深や流れから鯛ラバの重さを決め、ネクタイのカラー、巻き上げスピードなどをいろいろ試す。すると魚からの反応があり、ナイスなマダイを頂きました。
試行錯誤して結果につながると「キタッ、ビンゴ!」と感激。本命まで行き着くことができた喜びは格別です。ネクタイのカラーや巻き上げスピードでここまで反応が違うのか……と勉強にもなる刺激的な釣行でした。
マダイのジギングと投げて探る鯛ラバに最適

ジギング&鯛ラバキャストイング マダイスベシヤルのスピニング